



CITIZEN'S PLAZA

市民のひろば

市民の皆さんからの投稿作品をご紹介します！

みんな、
注目！

【投稿者】
若見洞川クリーン隊
(代表 永田みよ江)
☎(090)1274-4730

活動を始めて9年

若見洞川クリーン隊は、若見町の砂防池を源流とする、若見洞川の一部の清掃と草刈り作業を行うボランティア団体で、2013年5月に活動を始めました。

川幅約6メートルの若見洞川は、途中で大山を源流とする精進川と合流し、赤羽根港に注ぎま

す。水はきれいで、夏には蛍が舞います。しかし、年に1回ある河川愛護デーの草刈り作業だけでは、その美しい環境を保つのに不十分でした。活動前は農業ビニールや畑から出る野菜の収穫残さ、農薬瓶、空き缶、空き瓶などが捨てられ、無残な状態となっていました。

また、片岸は竹に似た背の高い植物に覆われ、人力ではどうすることもできない状態でした。

見て見ぬふりをするより、やれることをやってみようと、清掃活動を行うことに決めました。より多くの人に参加してもらうため、仲間で話し合い、チラシを作成したり、若見区役員や新聞社に活動の協力をお願いしたりしました。

清掃活動当日は、若見区役員、土建会社、あかばね塾生、豊橋信用金庫職員、そして新聞報道を通じて知った豊川、豊橋からのボランティアが6名ほど来てくださいました。総勢30名程の参加者が集まり、4トントラック一杯のゴミの回収と川岸周辺の草刈りをする事ができたのです。

2年目から、多面的機能支払交付金・若戸地域環境保全の会という農林水産省の事業への組織参加が認められ、助成金の対象になりました。2017年からは若戸小学校の協力の下、子ども、保護者の協力も得て、水辺の生き物観察と清掃活動を大人と子どもと一緒にしています。

また、この作業区間を、市のアダプトプログラム(市民の皆さんと市がお互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで環境美化を進めていく制度)に登録し、プレートを作成してもらいました。

この活動で、草刈り機が使えるようになった女性もいます。最近では、若いママと子どもの参加者も増えてきました。継続は力なり、困難の山は高いですが「草刈り清掃活動で地域交流」の旗を掲げ、次世代へバトンタッチできるよう末永く続けていきたいです。



▲若見洞川クリーン隊の皆さん



▲活動の様子



▲アダプトプログラムのプレート